

# 世田谷区の放射線騒動と関連団体の動向

平成 23 年 10 月 13 日

Patriots Of Japan

東京都世田谷区弦巻 5 丁目 11 番 1 5 歩道上に置いて、高濃度放射線が生じた問題に係る、市民運動並びに関係団体を調査したので、下記のとおり報告する。

## 記

東京都世田谷区弦巻 5 丁目 11 番 1 5 歩道上に置いて、高濃度放射線が生じた問題で、時事通信によると、

[時事通信](#) 10 月 14 日(金)0 時 20 分配信

東京都世田谷区の区道で高い放射線量が検出された問題で、文部科学省は 14 日未明、隣接する民家の床下にあった瓶の中から、ラジウム 226 とみられる放射性物質が見つかったと発表した。最大で毎時 3.35 マイクロシーベルトが検出された原因はこの放射性ラジウムで、東京電力福島第 1 原発事故とは無関係と判断した。

文科省によると、13 日午後 3 時半ごろ、世田谷区から「床下にある複数のガラス瓶が放射線源とみられる」との通報を受けた。同省は放射線障害防止法に基づき、担当者 2 人を派遣。民家の寝室の床下から、箱に入ったガラス瓶数十本を見つけた。中には粉末が入っていた。

粉末を検査した結果、ラジウム 226 やビスマス 214、鉛 214 などの放射性物質が検出されたため、鉛容器などに入れ放射線量を低減する措置を取った。14 日にも専門業者に処分を依頼するという。

この民家は 1950 年代に建てられ、女性が今年 2 月まで住んでいたが、現在は無人。女性の親族はガラス瓶などに心当たりがないと話しているといい、女性の夫（故人）も、放射性物質を扱う職業とは無関係だったという。



という事である。 <http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20111014-00000004-jij-soci>

この問題の端緒を調査及び関係機関に通報した団体は、市民団体の

**世田谷子どもを守る会** <http://setagaya-kodomomamoru.jimdo.com/>

である。

なおこの団体は、6月20日に発足した団体である。

根拠については、**みんなの党の世田谷区議員のツイートで発覚**した。

**桃野よしふみ(世田谷区議会議員)** のつぶやき

「**世田谷子どもを守る会**」の方と放射線量の測定。「民有地」で放射線量が高い場合、世田谷区はどう対応するのか。担当所管の返答は「民有地だから何もできない」というもの。おかしい！民有地に加えて周囲も影響を受ける。明日の決算特別委員会で、我々の会派の田中優子議員にとりあげてもらいます。2011-10-03 16:02:42

<http://tweetou.net/politicians/momono4423/>

同団体の背後関係を調査したところ、以下の団体が関わっている事が判明した。

The screenshot shows the homepage of the Setagaya Children's Protection Association. The header includes the title '世田谷子どもを守る会' and a navigation menu with items like 'Home', 'About us', '最新状況', 'お問い合わせ', '情報公開請求', '活動のこと', '活動会', 'Link', and 'お問い合わせ'. Below the header, there are sections for 'Links' and '協力団体'. The 'Links' section lists various organizations and projects across different districts, including '世田谷子どもを守る会', 'NEO People, Seidai Project', 'Voice of the Wind', and others. The '協力団体' section lists 'NEO People, Seidai Project' and 'Voice of the Wind'. The sidebar on the right features a KDDI Jimdo logo and promotional text, including '無料でホームページを作成しませんか?' and 'Jimdoはすべてのブラウザのブラウザで簡単にウェブサイトを構築できるサービスです。' There is also a section for '給食のこと' with a cartoon illustration of a child and a plate of food, and a section for '子供を守ろう Save Child: 食品放射線関連ニュースまとめ' with a link to a news summary page. At the bottom, there is a map of Setagaya City and a link to 'ご近所の様子 世田谷ガイド'.

<http://setagaya-kodomomamoru.jimdo.com/link/>

世田谷こども守る会の協力団体に、NPO 法人セイピースという名称の NPO 法人団体関わっているのを発見した。

代表 吉田 遼 [http://twitter.com/#!/saypeace\\_ysd](http://twitter.com/#!/saypeace_ysd)

#### 【連絡先】

TEL/FAX: 03-6450-8124

MAIL: mail@saypeace.org

#### 【事務所】

〒155-0032 東京都世田谷区代沢 5-7-8 コーポ松尾 103 号室

関連団体 NPO 法人ピースデポ <http://www.peacedepot.org/menunew.htm>

ピースデポとは市民運動家の梅林宏道氏が代表を務める米軍基地関連の反対運動の市民活動に積極的に関わっており、

<http://www.saijuku.jp/site/info/info.html> (関連ホームページ、さい塾)

セイピース代表の吉田 遼氏も参加している。

関連記事 2010 年 5 月 2 日アサヒドットコムより引用する。

<http://www.geocities.jp/kht9jo/201005paper/201005asahi.html>

一橋大大学院生の吉田遼さん(28)には、祖父ほども年の離れた梅林宏道さん(72)横浜市港北区との「ホットライン」がある。

4月24日、吉田さんが電話で切り出した話題は、米海軍省から届いた1通の手紙。海軍と海兵隊の関係者が米国外で起こした事件リストの説明文だ。横須賀や厚木といった基地周辺でどんな事件が何件起きているかを調べようと、吉田さんが米国の情報公開制度を通じて請求した。

「これだと、もう一度、海軍に問い合わせた方がいいな」。梅林さんのアドバイスは、短いがいつもの確だ。

2008年6月、情報公開の手法を学び、在日米軍のあり方を追及する「さい塾」をともに立ち上げた。

2人を結びつけるのは憲法だ。「軍事分野であっても、市民自らが情報を得て判断できるようになるべきだ。安全保障のイメージを、軍隊主導ではなく国民が作りあげること。それが真の国民主権」

「先生役」の梅林さんの思いを、吉田さんは受け継ごうとしている

なお、ピースデポは**社民党及び、民主党前原誠司議員との関係が深い**

(2003年12月2日普天間基地シンポジウムより。)

<http://www.city.ginowan.okinawa.jp/2556/2581/2582/513.html>

[http://www.city.ginowan.okinawa.jp/DAT/LIB/WEB/1/00063\\_00008.pdf](http://www.city.ginowan.okinawa.jp/DAT/LIB/WEB/1/00063_00008.pdf)

(その他関連資料 URL)

<http://simoiti1329.web.infoseek.co.jp/pead309/309-5.9.3.14yuasaitirou41-50.htm>

<http://www.pnnd.jp/update/pdf/Forum%20report.pdf>

<http://blog.livedoor.jp/jtama/archives/50572808.html>

また、**NPO セイピースプロジェクト所属の隅田聡一郎**という人物も、**2011年6月16日 午前11時47分自身のツイッターで、**

tw 2011-06-16 11:47

【内部被ばく】NO! 放射能 世田谷こどもを守る会、発足！ 保護者ネットワーク世田谷（セイピース）がサポートしています。

と、**世田谷こどもを守る会へサポートしている事を明らかにしている。**

[http://twitter.com/#!/saypeace\\_soichi](http://twitter.com/#!/saypeace_soichi)

<http://ceron.jp/url/setagaya-kodomomamoru.jimdo.com/>

このNPO 法人セイピースを調査したところ、以下のような団体である。

<http://saypeace.org/aboutus/index.html>    <http://d-navi.org/node/1#0104>

## ■セイピースプロジェクト( SAY-Peace PROJECT )とは

アジア( Asia )×若者( Youth )×平和( Peace ) をキーワードに集まった若者たちからなる 平和NGO です。

会員数は現在、正会員 50 人ほど、サポート会員・賛助会員を合わせると全体で 70 名(団体含む)ほどです。

## ■歩み

セイピースプロジェクトはイラク戦争が始まった 2003 年にスタートしました。平和や戦争の問題について大学生を中心に若い世代が同世代で話し合い、共有できる「場」を創るためディスカッションイベントの開催を中心に活動を行い、徐々に取り組むテーマや活動の形態を広げてきました。

2009年7月に東京都の認証を受け、正式に「特定非営利活動法人(NPO法人)」となりました。

## ■基本コンセプト

### ●「平和的生存権」の確立を目指す。

軍事力やそれに依存した「安全保障」のあり方が人々の生存と人権を侵害している現実を変えるため、基本的人権としての「平和に生きる権利」＝「平和的生存権」を社会的な権利として確立することを目指す。

### ●「軍事力に依らない平和」の実現を目指す。

アジアにおいて、軍事力依存の「安全保障」がもたらす国境を隔てた相互不信と軍事的緊張が地域の平和を脅かしている状況を変えるため 対話と軍縮を通じて「軍事力に依らない平和」を実現することを目指す。

### ●アジアの若い世代による平和のネットワークを作り出す。

平和的生存権の保障と「軍事力に依らない平和」をアジアで実現するために、国境を越えた若い世代のネットワークを構築することを目指す。

## ■主な事業内容

- [内部被ばく予防キャンペーン](#) (テーマ:原発)
- [朝鮮学校キャンペーン](#) (テーマ:在日朝鮮人問題)
- [Peace in 沖縄キャンペーン](#) (テーマ:沖縄基地問題)
- [D-Navi](#)—東アジアから軍縮平和を目指す総合情報サイト—

### ■内部被ばく予防キャンペーン (テーマ:原発)

☆福島第一原発から放出され続ける放射性物質は、今後長期間にわたって私たちの生活に影響を与え続けるでしょう。ところが放射線の影響、特に内部被爆に関する影響は過小評価され、その危険性が周知されていません。

私たちは、放射線による健康被害について「安全性」のみを強調するのではなく、「低線量被ばく」「内部被ばく」に関する国際的な基準と科学的なデータに基づいて、その危険性を正確かつ迅速に市民に伝えていくキャンペーン活動を展開していきます。

## ①内部被ばく予防リーフレットの作成・頒布



4月1日に厚労省が公表した「妊娠中の女性や育児中の母親向けに放射線への心配に答えるパンフレット」は、科学的な根拠を全く提示せず、ただ安全性を断言するだけです。私たちは、客観的なデータに基づいて内部被爆の危険性や予防方法を正確に伝えるリーフレットを作成し、自治体や公共施設に頒布します。このリーフレットは放射線医学の専門家である岐阜環境医学研究所所長の松井英介先生に監修していただきます。

## ②福島第一原発事故に関する資料蓄積、調査活動

3月11日を契機として発生した福島第一原発事故に関して、事故発生から現在に至る原発の状況に関する情報収集、また放射能汚染について各地の放射線数値、水道水や食品の汚染状況の推移、政府の対応等について調査し、資料を蓄積する活動を行っていきます。得た情報はキャンペーン活動で活用し、発信していきます。



## ③内部被ばくに関する様々な啓発活動

イベントの開催、WEB上での情報発信など、さまざまな形でこの内部被爆の問題について啓発活動を行っていきます。

## ■朝鮮学校キャンペーン（テーマ:在日朝鮮人問題）

☆朝鮮学校への「高校授業料無償化」適用と、補助金停止の解除の、一刻も早い実現を求めてキャンペーン活動を展開していきます。

## ①朝鮮学校へのフィールドワーク、学生との交流



東京朝鮮高級学校や枝川にある東京朝鮮第二初級学校を実際に訪問し、授業を見学したり、学生と交流することで、朝鮮学校の歴史と現状について理解を深めるフィールドワークを定期的に開催しています。

夏には関西地方を訪れ、大阪と京都にある在日コリアン集住地域や朝鮮学校、戦跡・平和博物館を訪れたり、そこに暮らす様々な人たちとの出会いを通して、日本と朝鮮半島の



歴史、戦争の歴史、差別と人権について学ぶスタディツアーを企画しています。また、東日本大震災で被災した宮城や福島朝鮮学校への支援活動も行っていきたいと考えています。

### ②無償化問題、補助金問題に関する情報発信

「高校授業料無償化」問題や各自治体の補助金停止問題に関して、最新情報と分析記事の特設ブログ「もっと知ろう！朝鮮学校」で発信しています。

### ③署名活動

「高校授業料無償化」適用を求める署名活動を街頭で行っています。

## ■ Peace in 沖縄 キャンペーン（テーマ：沖縄基地問題）

☆「普天間移設」問題が焦点化されている沖縄の基地問題に、東京の若者の立場から取り組んでいくキャンペーン活動を展開しています。もっとも重要な柱となる取り組みは、「沖縄基地問題」をテーマとした平和教育プログラムです。

### ①「沖縄の基地問題」を考える平和教育プログラムの企画・開発、出張授業の実施



高校の修学旅行先として最も多い沖縄。しかし、修学旅行やその事前学習、さらに学校現場での日常の平和教育の中で「沖縄の基地問題」が正面から取り上げられることは多くありません。

「普天間問題」で示された本土世論の「思考停止」状態を乗り越えるには、若い世代一人ひとりがこの問題について考える力をつけることが必要だと考え、体系的な「沖縄基地問題」教育のプログラムや教材の開発、学校教育や社会教育の現場での出張授業の実施を目指して、活動しています。

### ②高江ヘリパッド建設問題に対する取り組み

沖縄県北部の「やんばるの森」で進められようとしている米軍のヘリパッド移設問題に取り組んでいます。この問題を少しでも多くの人に知ってもらうため、イベントや上映会の開催、情報発信を行っているほか、ヘリパッド建設中止を求める署名集めをWEB上や街頭で実施しています。また、2011年1月から2月にかけては、ヘリパッド建設予定地に

おける工事強行を食い止めるために、2ヶ月間継続して、交代でスタッフを高江に派遣しました。

### ③沖縄スタディツアーの実施

毎年夏に、一般に参加者を公募して4泊5日の沖縄スタディツアーを実施しています。



普天間基地、嘉手納基地を始めとする米軍基地、中・南部の戦跡や資料館、新基地建設反対運動の辺野古、高江など、さまざまな場所を訪れ、また平和運動・反基地運動に取り組んでいる方々にお話を伺う内容の濃いプログラムです。毎年10名から20名の大学生が参加しています。

### ■D-Navi—東アジアから軍縮平和を目指す総合情報サイト—



☆アジアの平和を促進するためには、市民社会が安全保障問題についての正確で十分な情報を手にすることが不可欠であるという考えに基づいて、米国や日本の情報公開制度を活用することなどを通して、情報の入手と分析、それに基づく研究活動と発信活動を進めています。

情報発信のツールとして、軍縮平和に関する総合情報サイト「D-Navi」を運営しています。

#### ①「東アジアから軍縮平和の実現を目指す総合情報サイト D-Navi」の運営

「D-Navi」は、日本とアジアの軍縮平和に関する幅広い情報を発信するための総合情報サイトです。（本事業は、「神奈川ネットワーク運動市民社会チャレンジ基金」第16期助成対象事業です）。

主に以下のようなコンテンツで、随時更新しています。

#### ・基礎講座

平和と安全保障問題に関する基礎知識をまとめています。

#### ・全国基地情報

週に2度のペースで、全国の米軍・自衛隊の基地の動向に関する情報を発信しています。



情報源には、各地の地方紙(神奈川新聞、中国新聞、沖縄タイムスなど)の他、現地の方から直接頂いた情報もアップしていきます。

#### ・原子力艦船寄港情報

沖縄(ホワイトビーチ)、佐世保、横須賀における米原子力艦船の寄港に関する情報を1週間単位で自治体に聞き取りを行い、詳細情報をアップしています。

#### ・特集

東アジアの軍縮平和に関わるテーマについて、有識者の論文や講演録、関連資料などを発信・蓄積しています。

#### ・調査・研究

上記の調査活動などを通して得られた情報や資料をアップしていきます。

### ②米軍・自衛隊に関する調査活動

米国の情報公開制度を活用した調査活動を進めています。  
調査は、ピースデポ特別顧問の梅林宏道さんのご指導を受けながら行っています。



現在取り組んでいるテーマには、以下のようなものがあります。

#### ①沖縄高江ヘリパッド建設アセスメントについて

#### ②沖縄中部訓練場の不発弾処理について

#### ③厚木基地に関する基地管理権について

#### ④自衛艦によるイラク戦争前後の洋上給油活動

<http://saypeace.org/active/index.html>

このように、内部被ばくの危険を訴える他、**朝鮮学校支援や米軍基地、並びに自衛隊情報を収集している左翼系団体**と言える。

なお、この NPO 団体のリンク先は以下のとおりである。

## 総合

### **D-Navi「東アジアから軍縮平和を目指す総合情報サイト」**

在日米軍や自衛隊の動向をはじめとする東アジアの安全保障と軍縮平和に関する情報を発信し、多くの方と情報の共有を行うための総合情報サイトです。セイピースプロジェクトが運営しています。

### [NPO 法人 ピースデポ](#)

一次情報にもとづく正確で価値ある調査・分析・視点を提供していく、平和問題に関するシンクタンクです。

### [さい塾](#)

行政資料の情報公開を基礎として、グローバルな平和と公正を追求するための情報交換と相互研鑽の場です。NPO法人ピースデポの協力を得て運営されています。

### [梅林ブログ](#)

NPO ピースデポの特別顧問、さい塾主宰の梅林宏道さんのブログです。

### [平和憲法のメッセージ](#)

早稲田大学大学院教授水島朝穂さんのホームページです。

## ●米軍

### **[やんばる東村 高江の現状](#)**

米軍ヘリパッドの建設候補地である東村高江区の住民の方が、現地の状況について情報発信しているブログです。

### [おおかな通信2](#)

普天間基地の移設候補地とされている名護市辺野古の状況について情報発信しているブログです。

### **[新嘉手納基地爆音訴訟団](#)**

米空軍嘉手納基地周辺での騒音被害に対し米軍機の飛行差止めと損害賠償を求める訴訟の原告団が、訴訟の経過から基本知識まで掲載しているサイトです。

### **[追跡！在日米軍](#)**

在日米軍基地を抱える自治体の議員がその運用実態について、現地からの生の情報を発信して

います。

### **[沖縄はもうだまされない\(真喜志好一さん HP\)](#)**

建築家・真喜志好一さんが辺野古と高江での新基地建設について詳細に論じているサイトです。

## ●核問題

### **[日本被団協\(日本原水爆被害者団体協議会\)](#)**

47都道府県のそれぞれにある被爆者(広島・長崎で原爆の被害を受けた被害者の生存者)の団体の協議会で、被爆者の唯一の全国組織です。

### **[東友会\(東京都原爆被害者団体協議会\)](#)**

東京に住んでいる被爆者が会員となり、40年以上にわたって運動を続けている被爆者団体です。

### **[核兵器廃絶—地球市民集会ナガサキ](#)**

NGO、地方自治体の主催で世界各国の反核運動のリーダーが集まって徹底討論し、被爆地・長崎から提言を行う集会です。

### **[ICNND\(核不拡散・核軍縮に関する国際委員会\)日本 NGO 市民連絡会](#)**

日豪政府主導で立ち上げられた核軍縮に関する国際委員会 ICNND に対して、市民社会からの参画と協力を拡大することを目的に発足した連絡会です。

## **[核情報](#)**

核問題に関連した情報を正確に分かりやすく、情報源へのリンクを含め掲載しているサイトです。

## ●歴史教育

### **[在日コリアン青年連合\(KEY\)](#)**

朝鮮半島と日本の架け橋となり、在日コリアン社会、朝鮮半島と日本、そしてアジアや世界の人権と平和に貢献することを目指す NGO です。

### **[戦後責任ドットコム](#)**

戦争責任・戦後補償・歴史認識問題に関する情報を提供するポータルサイトです。

### **[季刊 中冊連](#)**

アジア・太平洋戦争時に、中国で戦犯として拘留された後に日本に帰国した元兵士の方たちが、戦争の体験を語り継ぐために立ち上げた「中国帰還者連絡会」が発刊している季刊誌です。

### **WAM(女たちの戦争と平和資料館)**

「慰安婦」問題の真の解決をめざし、二度と繰り返されないため、過去の不正義を正し、女性の人権を守り育てていくことを目的に、日本国内で唯一「慰安婦」問題に特化した資料館です。

### **史実を守る会**

南京事件被害者の夏淑琴さんが名誉毀損を訴えられた裁判の支援活動など、過去の過ちを糧として平和と友好を築いていく活動を行っている市民団体です。

### **DIG 戦争体験を掘り起こす会**

次の世代に伝えるため、旧日本軍兵士の戦争体験の証言を記録している団体です。

### **The MEMORO Project 記憶の銀行**

1940年以前に生まれた方による当時のお話をビデオで記録し、WEB上にアップしている団体です。イタリアで結成され、日本では09年に本格的に始まりました。

## ●その他NGOなど

### **国際青年 NGO A SEED JAPAN**

国境を越えた環境問題と社会的な不公正に注目し、より持続可能で公正な社会を目指して活動を展開している国際青年環境 NGO です。

### **グリーンピース ジャパン**

気候変動とエネルギー問題の解決、海洋生態系の保護、遺伝子組み換えがおよぼすリスクの防止、平和と軍縮を追求する活動などを通じて、持続可能で平和な社会実現を目指す国際環境 NGO です。

### **国際交流 NGO ピースボート**

国と国との利害関係とはちがった草の根のつながりを創ることを目指し、アジアをはじめ地球の各地を訪れる国際交流の船旅をコーディネートしている NGO です。

### **PEACE ON**

市民による草の根の国際支援活動、文化交流など直接のふれあいを通じて平和で友好的な国際関係の基礎をつくることを目指す NPO です。

## [PARC](#)

南と北の人びとが対等・平等に生きることのできるオルタナティブな社会をつくることをめざし、調査研究や政策提言、教育活動を行う NPO です。

## **[がんばれッ！日本国憲法](#)**

小学生から 70 代まで幅広い一般市民が参加し、日本国憲法の価値を伝えるミュージカルです。

<http://saypeace.org/link/index.html>

このように、リンク先には**辻元清美議員が関わるピースボード**や、**中国関連団体**、**捕鯨反発団体のグリーンピース**、**在日コリアン関連団体**や、**基地闘争系列左翼団体**が連ねている。

またセイピース運営ブログには 2008 年 10 月 11 日、**ピースボードと「国境を越えるために～若者で考える日韓友好～」**という**イベント**を共催した事を紹介している。

<http://blog.goo.ne.jp/saypeace/e/68896ce2a0797cd82043af729d23ba76>

世田谷子供を守る会のネットワークは以下のとおりである。

### **(全国) 子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク**

<http://kodomozenkoku.com/>

### **(東京) NO！放射能「東京連合こどもを守る会」**

<http://tokyo-mamoru.jimdo.com/>

なお、子供たちを放射能から守る会に関しては、今年の 7 月 12 日に結成されたものである。  
下記に画像を添付する。



子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク

National Network of  
Parents to Protect Children  
from Radiation

報道関係者各位

2011年7月16日

**「子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク(子ども全国ネット)」結成**

2011年7月12日、放射能の被害から子どもたちを守ることを合い言葉に、各地のお母さんやお父さんが一丸に集まりました。そして、それぞれをつなぐネットワークを、「子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク」とし、登録団体107団体、賛同者・団体700人(7/12時点)の元に結成する運びとなりました。

**宣言文**

「今、わたしが子どもたちをまもるために行動します」  
「私たち自らが子どもを守るために動き出します!」

**「子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク」コンセプト**

**「伝え、つながり、行動するための場」**

一人一人の思いと行動をつなげ、大きなうねりにしていきます。  
福島のことを全国に伝え、全国で福島の子どものことを守りましょう。

放射能から子どもたちを守るために活動している(これからする)個人や団体の思い、情報、活動をつなげることで、市民自ら子どもたちを守る環境をつくれます。またこのような個人・団体が全国規模でつながり行動していくことで、大きな社会のうねりを生み出し、真に子どもたちを守るための施策の実現へとつなげます。

登録団体は120団体、賛同者・団体は1,170人・組(7月16日現在)、子ども全国ネットの活動は運営事務局(運営事務局長 近藤波美)を置き、ポータルサイトの運営、各ワーキングチームとの連携を図ることとします。

**ポータルサイト運営のほか、各プロジェクトについて。**

キックオフミーティングの同日に新たに新たに参加したメンバーや各団体代表と共に、早急にネットワーク活動の意義と、プロジェクトの始動の確認をしました。以下のプロジェクトがこの夏よりはじまります。

1. 全国の各団体の代表者会議の開催
2. 福島の子どもの安全を確保・確保させるためのアクション
3. 子どもの安全を守るための食品の独自基準の設定
4. 市民による食品放射線測定センターの立ち上げ
5. 放射能の正しい知識を広めるための全国茶話会1000か所プロジェクト
6. 子ども全国ネット1000万人署名

また新たに提案されたプロジェクトもありました。

7. 除染、8. 計測・食品測定、9. 議員プロジェクト、10. 医療相談・カウンセリング

各プロジェクトは、ワーキングチームを組み既にスタートしています。チームそれぞれと、また事務局との連携を常にとり、効率よく、また活動を続けることで信頼の得られる関係を結びながら、プロジェクトの責務と定着を目指していきます。

(本件に関するお問い合わせ) 子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク Mail:press@kodomozenkokunet.com

広報担当: はっとりいくよ Tel:080-5377-7864 Fax:042-312-2314

[http://kodomozenkoku.sakura.ne.jp/sblo\\_files/kodomozenkokunet/image/E5AD90E381A9E38282E3819FE381A1E38292E694BEE5B084E883BDE3818BE38289E5AE88E3828BE585A8E59BBDE3838DE38383E38388E383AFE383BCE382AFE7B590E68890.jpg](http://kodomozenkoku.sakura.ne.jp/sblo_files/kodomozenkokunet/image/E5AD90E381A9E38282E3819FE381A1E38292E694BEE5B084E883BDE3818BE38289E5AE88E3828BE585A8E59BBDE3838DE38383E38388E383AFE383BCE382AFE7B590E68890.jpg)

この団体のホームページでも、**セイバーピースプロジェクトが関連団体**としてリンク先であげられている。(下記に画像を添付する)



原発事故を受けて結成された、全国にある**放射能から守る会**と呼ばれる**市民団体の初期の発足団体**としては2011年5月1日「**子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク**」を結成。上記団体の協力団体に関しては以下のとおりである。なお、この団体でも**セイピースが協力団体**として取り上げられている。

## 協力団体

全国

[mama to mama](#)

宮城県

[子どもたちを放射能から守るみやぎネットワーク](#)

山形県

[避難者支援センター”おいで”](#)

福島県

[子ども福島情報センター](#)

[市民放射能測定所](#)

[「脱原発の日実行委員会」](#)

[有限会社 ラ・ヴィータ](#)

[npo 百笑屋敷](#)

[銀河のほとり](#)

[渡利の子どもたちを守る会 SAVE WATARI KIDS](#)

埼玉県

[ふくしまのこどもたちを、まもりたい](#)

千葉県

[福島の子どもたちを放射能から守るプロジェクト@ちば](#)

神奈川県

[「福島の子どもたちとともに」川崎市民の会](#)

東京都

[福島老朽原発を考える会\(フクロウの会\)](#)

[国際環境 NGO FoE Japan](#)

[一般社団法人 Real Power of Japan](#)

[「絆」プロジェクト託児チーム](#)

[NPO 法人セイピースプロジェクト](#)

[福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク\(SAFLAN\)](#)

[特定非営利活動法人東京シューレ](#)

[原発を考える会](#)

[一創塾](#)

[福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト](#)

[子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク](#)

[NPO 風の船](#)

[NPO 法人「ふくしま支援・人と文化ネットワーク」](#)

[アースデイ東京タワー・ボランティアセンター](#)

[NPO 団体 東日本大震災福幸支援チーム だんね～座](#)

静岡県

[STOP！浜岡原発](#)

[\(財\)日本YMCA同盟 東山荘](#)

京都府

[うつくしま☆ふくしま in 京都](#)

[京都から東日本大地震被災者を支援する会](#)

大阪府

[特定非営利活動法人オールアワハーツ](#)

[放射能から子どもを守る会・高槻](#)

[NGO 心援隊](#)

[大阪でひとやすみ！プロジェクト](#)

[関西 Future コミュニティー](#)

[原子力行政を問い直す宗教者の会](#)

兵庫県

[被災者支援・放射線被ばくを許さない会～いのちをつなぐキャンペーン](#)

奈良県

[天理教本部](#)

和歌山県

[空家バンクプロジェクト](#)

島根県

[しまね田舎ツーリズム推進協議会](#)

徳島県

[子ども疎開ネットワーク徳島](#)

福岡県

[「絆」プロジェクト北九州](#)

大分県

[子どもたちを放射能から守る会大分](#)

[ムラづくり NPO 風の原っぱ](#)

沖縄県

[ちむぐる](#)

海外

[Walk for Fukushima](#)

[http://kodomofukushima.net/?page\\_id=135](http://kodomofukushima.net/?page_id=135)

なお今年の4月24日世田谷区長選で当選を果たした**保坂 展人**世田谷区長は、

<http://www.yomiuri.co.jp/election/local/2011/news1/20110424-OYT1T00620.htm>

**社民党**出身で、**警察庁**が平成13年に発表した**警察白書**で、**極左暴力集団**である**中核派の大衆運動**として名指ししている、「**百万人署名運動**」の呼びかけ人として**社民党議員**と共に**参加**している。

参加議員

(保坂展人議員、濱田健一議員、さらに中川ともこ、福島瑞穂、土井たか子、村山富市、伊藤藤茂、中西績介、辻元清美議員の各秘書、田英夫、中村敦夫議員)

<http://www.npa.go.jp/hakusyo/h13/h130600.html> (平成13年度警察白書)

<http://www2u.biglobe.ne.jp/~hyakuman/ayumi.htm> (百万人署名運動)

保坂世田谷区長は、平成23年6月1日に記者会見で、区独自で放射線量の測定を始める方針を表明している。

<http://www.mxtv.co.jp/mxnews/news/201106016.html> (tokyo MX news)

<http://www.youtube.com/watch?v=f5oI557q9a4> (youtube 動画)

そして、**世田谷子供守る会**は、同年7月6日保坂世田谷区長へ、**学校給食の放射能予防に関する事**と、「**要望に対する補足**」**6868名分の署名を提出**している。

そして、**世田谷子供を守る会**は**6月20日に発足した団体**である。

**発足してから16日足らずで、6868名分の署名を集め区長と直接コンタクト**をとり、**要望書と署名を提出した事**となる。(NHKでも報道されている。)

また**子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク及びセイピース等**は、放射線による危険性を訴えながら、活動資金のカンパを集めている。

<http://www.saypeace.org/support/index.html> (セイピース)

<http://savekokubunji.wordpress.com/save-kokubunji-%e3%81%a8%e3%81%a4%e3%81%aa%e3%81%8c%e3%82%8b%ef%bc%81/%e3%82%ab%e3%83%b3%e3%83%91%e3%81%ae%e3%81%8a%e9%a1%98%e3%81%84/> (セイピース事務局長 隅田聡一郎)

<http://kodomozenokoku.com/news.html> (放射能から守る全国ネットワーク「**市民による市民のための 食品測定所**」寄付)



7月6日保坂世田谷区長へ、「要望に対する補足」6868名分の署名を提出した世田谷子供守る会画像

<http://setagaya-kodomomamoru.jimdo.com/>

<http://setagaya-kodomomamoru.jimdo.com/陳情-要望内容/>

今回放射線が観測された瓶が置かれた世田谷区の民家は、住民であった女性が今年2月まで住んでいたが、現在は無人で、女性の親族はガラス瓶などに心当たりがないと話しているといい、女性の夫（故人）も放射性物質を扱う職業とは無関係であり、発見された放射線を生じさせた瓶は、民家床下に木箱と紙箱で2重に梱包（こんぼう）放置されていた。

報道された情報が正しく、尚且つ現場の民家付近は道路に面した小学生等の通学路ではあるものの、夜間は閑静な住宅街であり、家人がいない無人の空き家であること、警視庁も現場に赴いて捜査していることから、**何者かが民家に侵入し、放射性物質を遺棄した可能性**も否定できない。

(2011.10.13 産経新聞より)

<http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/111013/crm11101321420025-n1.htm>

また、放射線を観測した団体(世田谷子供守る会)の協力団体の、セイピース及び、その代表と社民党の関係や、各種左翼系環境団体や基地闘争関連団体、韓国関係団体との交流及び朝鮮高校無償化運動とのつながりも考慮したうえで、上記のような放射性物質が空き家から見つかったケースを総合すると、これら**放射線騒動は、原発反対運動などに係る左翼団体が放射性物質、放射線の危険性を過度に煽り、原発反対運動を推進しようとする意図ならびに、各種団体の運営活動費を集める目的の可能性**があるのではないかと推測する。

以上